

【宮都組】 キュートぐみ

ツゲじい

内裏跡などでは、柱の形に切り込んだイヌツゲ(犬黄楊)の木を植えて、掘立柱建物の跡を表現しています。イヌツゲは根が地中で浅く広がることから、遺跡を傷付けません。



かわらびとちゃん

手に持つ翳と耳は平城宮跡内で出土した軒丸瓦と軒平瓦。平城宮が造られ始めた時に建築された、第一次大極殿院の瓦がモチーフです。

にやら三彩

中国の唐三彩という陶器を模して、日本で作られたものが奈良三彩。奈良三彩では3色の釉薬が塗り分けられていますが、唐三彩とは色味が異なるため、日本の職人が独自にアレンジしたのでしょうか。

ドーバちゃん

モチーフは馬のかたちをした土馬。8世紀の土馬には鞍がなく、尾がはね上がっているのが特徴です。片足の色が異なるのは、土馬の多くが欠損した状態で出土することに由来します。これは、おまじないのために意図的に壊されたためと考えられています。

えんめん犬

円面硯は須恵器で作られた円形の硯です。中国の漢代から使われ続けているもので、様々な形状があります。墨は平城京の宅地跡から子供の成長を願って埋められた壺から出土しています。これらは中央官庁である平城宮に勤める役人には欠かせない文房具でした。

キャラクター設定の背景となった 平城宮跡の調査・整備について

「キュートぐみ【宮都組】」は平城宮跡の史跡指定100周年を記念して誕生したキャラクター達です。平城宮跡や奈良時代、考古学にまつわるテーマについて、親しみと関心をもってもらうために展覧会やSNSなどで活躍しています。愛くるしい見た目をしていますが、その設定は専門分野の考証によって裏付けられています。ここでは、キャラクターのもとになった平城宮跡の出土品とともに紹介しましょう。

キュートぐみはこれからも平城宮跡を盛り上げるために、イベント出演やグッズ展開をしていく予定です。新しいキャラクターも登場していきますので、今後の活躍をご期待ください。(企画調整部 小原 俊行)

さるまるくん

長屋王邸の井戸からは、猿などの動物が描かれた墨画土器が出土しています。土器の内面には墨がこぼれた痕跡があったため、硯を上に乗せていたと考えられています。この絵は日本で最古の猿の墨画です。

ひとがたさん

人形と呼ばれる木製品がモデル。人形はおまじないに使われ、大祓の際、水に流したとされています。壬生門前の溝からもまとまって出土しました。